

---

# pure::variants 6.0 - アップグレードガイド

pure-systems GmbH

Version 6.0.0.685 for pure::variants 6.0

Copyright © 2003-2022 pure-systems GmbH

2022

## 目次

1. 新しいライセンスファイルの要求.....2
2. pure::variants ライセンスサーバーを使用するインストールの更新.....2
3. pure::variants 5.0 と 6.0 の両方をプロジェクトで使用する .....2
4. pure::variants モデルサーバーを使用しているインストールの更新.....2
5. pure::variants クライアントの更新 .....3

## 注

このドキュメントの最新バージョンは、<https://www.pure-systems.com/fileadmin/downloads/pure-variants/doc/pv-6-upgrade-guide.pdf> からダウンロードできます。

pure::variants 6 は、以前のバージョンの pure::variants と同時にインストールして使用できます。以前のバージョンとは別の場所にインストールされ、自身専用の設定を使用します。

pure-systems が提供するツール内統合をもつすべてのコネクタは、1 度だけインストールできます。すなわち、新しい pure::variants コネクタをインストールすると、ツール内統合はその新しいバージョンに更新され、その後、それらは新しい pure::variants 6.0 のインストールとの組み合わせのみで動作します。

pure::variants 5.0 のツール内統合を復元するには、コントロールパネルの「プログラムと機能」を使用して現在のバージョンをアンインストールします。その後、古い pure::variants 5.0 アプリケーションの「ヘルプ > pure::variants > Tool Integration Updates...」メニューから以前のツール内統合をインストールできます。

pure::variants 6.0 のインストールが完了すると、pure::variants 5.0.x は pure::variants 6.0 のインストールに影響を与えずにアンインストールできます。

pure::variants 6.0 を使用するには新しいライセンスファイルが必要です。以下の手順に従って、現在の pure::variants のインストールを更新してください。

## 1. 新しいライセンスファイルの要求

有効な保守契約を持つ pure::variants ユーザーは、現在のライセンスファイルを [license-update@pure-systems.com](mailto:license-update@pure-systems.com) に送信することによってライセンスの更新を要求できます。要求が処理され、pure::variants 6 で使用できる新しいライセンスファイルが送信されます。

この手順は、すべてのライセンスのタイプに必要です。

## 2. pure::variants ライセンスサーバーを使用するインストールの更新

pure::variants 6.0 クライアントを使用するには、バージョン 6.0 用の新しいライセンスサーバーが必要です。新しいライセンスサーバーは、バージョン 5.0.x または 6.0 のすべての pure::variants クライアントに使用できます。5.0.x クライアントは、それぞれのバージョン 5 用のクライアントライセンスをそのまま保持しますが、6.0 クライアントには新しいバージョン 6 のクライアントライセンスが必要なことにご注意ください。pure::variants 6.0 の使用を許可するには、次の手順が必要です。

1. 新しいライセンスファイルを要求する
2. 新しいライセンスサーバーをインストールする
3. ライセンスサーバーのライセンスファイルを更新する
4. pure::variants 6.0 クライアントをインストールする

ライセンスサーバーのインストーラーは、ライセンスサーバーを新しい場所にインストールしますが、ライセンスファイルの場所を含む既存のインストールのすべての設定を使用します。また、Windows のサービスとして pure::variants ライセンスサーバーを使用している場合は、そのサービスも置き換えます。Windows システムでは、アンインストーラーによって古いライセンスサーバーをアンインストールできます。

## 3. pure::variants 5.0 と 6.0 の両方をプロジェクトで使用する

既存の pure::variants 5.0 プロジェクトは pure::variants 5.0 および pure::variants 6.0 のインストールで並行して使用でき、両方のバージョンで完全な互換性をもって動作します。

## 4. pure::variants モデルサーバーを使用しているインストールの更新

pure::variants モデルサーバーを使用する場合、インストールを更新するには次の手順が必要です。

1. 新しいライセンスファイルを要求する
2. 新しいライセンスサーバーをインストールする
3. ライセンスサーバーのライセンスファイルを更新する
4. モデルサーバーをバージョン 6.0 に更新する

## 5. pure::variants 6.0 クライアントをインストールする

モデルサーバーのインストーラーは、サーバーを新しい場所にインストールしますが、既存のインストールのすべての設定を使用します。これにはデータベースへの接続用データも含まれます。データベースは、それ以上の設定は必要なく、新しいサーバーで使用できます。

モデルサーバーが Windows のサービスとして実行されている場合、インストーラーは古いサービスを新しくインストールされたモデルサーバーに置き換えます。古いモデルサーバーは、アンインストーラーを使用してアンインストールできます。

pure::variants モデルサーバー6.0 は、pure::variants 5.0 クライアントとの接続も扱うことができます。したがって、モデルサーバーを更新した後、既存の pure::variants 5.0 クライアントは以前と同じように動作し、順を追って更新できます。

## 5. pure::variants クライアントの更新

pure::variants クライアントを使用するには、以下の手順でインストールを更新することが必要です。

1. 新しいライセンスファイルを要求する
2. pure::variants 6.0 クライアントをインストールする

バージョン 6.0 は、pure-systems 社 Web サイト (<https://www.pure-systems.com/pvde-update/>) からダウンロードできるインストーラーパッケージを使用してインストールできます。ユーザー名とパスワードが要求されますが、それぞれ登録されているメールアドレスとライセンス番号です。インストーラーを使用すると、pure::variants の古い 5.0.x バージョンと同時に新しいバージョンをインストールでき、以前のバージョンに干渉することなくアンインストールすることもできます。

5.0.x バージョンを新しいバージョン 6.0 に更新することもできます。これを行うには、現在インストールされているバージョンの pure::variants を開き、「ヘルプ > 新規ソフトウェアのインストール...」と進みます。インストールウィザードで、「作業対象 (Work with)」欄に更新サイト: <https://www.pure-systems.com/pvde-update> を入力します。ウィザードでは、エンタープライズ機能と、必要に応じて追加のコネクタを選択できます。使用許諾契約に同意すると、pure::variants はバージョン 6.0 に更新されます。

バージョン 6.0 を、以前にインストールしたバージョン 5.0.x に戻すこともできます。これを行うには、「ヘルプ > Eclipse プラットフォームについて (About)」と進みます。新しく開いたダイアログで、「インストール詳細」をクリックします。インストール詳細ダイアログの「インストール履歴」タブから、古いバージョンを選択し、「前回保管した状態に戻す (Revert)」ボタンで元に戻すことができます。